

科目名	保育実習Ⅳ					単位	2.0
担当教員	石牧 良浩						
授業形態	実技・実習	開講期間	随時	配当年次	3	授業番号	9111

●授業のテーマ

保育支援のあり方を学ぶ。

●到達目標

保育心理士養成の学びの総括として、個別のケースワーク、ケースレポートの作成、事例スーパービジョン、事例検討会を体験する中で、個別支援のスキルを身につける。

●学習内容(授業概要)

個別の支援のあり方を学ぶため、躓きを持った子どもとかかわることを原則とする実習である。一人一人の心に寄り添える資質と集団での適応支援をする実習で、保育園において行う。保育実習Ⅳは、保育実習指導を含み、事前指導、実習、事後指導という一連の流れの中で実施される。

●学習内容(授業計画)

1. 事前指導① 動機は何か？（なぜ保育心理士を取得するのか）
2. 事前指導② 個別支援とは
3. 事前指導③ ケースレポートの書き方
4. 事前指導④ ケースのとらえ方と支援計画
5. 事前指導⑤ 実習先オリエンテーション
6. 実習中スーパービジョン① ケースの設定
7. 実習中スーパービジョン② ケースの支援計画
8. 実習中スーパービジョン③ ケースとのかかわり
9. 実習中スーパービジョン④ ケースとのかかわりで起こってくる課題
10. 実習中スーパービジョン⑤ ケースと保育者の関係を見つめる
11. 事後指導・事例検討会①
12. 事後指導・事例検討会②
13. 事後指導・事例検討会③
14. 事後指導・事例検討会④
15. まとめと討論

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：事例研究の文献を読む。

事後学習：実習指導で学んだことを復習する。

●成績評価方法・基準

事前・事後指導の出席および実習日誌、実習先の評価、事例報告書等で総合的に評価する。

●テキスト（必携）

●参考文献／その他

参考文献は適宜紹介する。プリント、教材、資料等を配布する。それらを綴じるためのファイルを各自用意すること。

●履修上の注意

保育心理士資格必修。